

令和 6 年 2 月 2 日

保護者 様

富士市立広見小学校
校長 稲垣 まゆ美

令和 5 年度 後期 学校アンケートの集約結果について

平素より本校の教育活動に御理解、御協力をいただき、ありがとうございます。

さて、11月末に広見小学校の教育に関わるアンケート（保護者回答）を実施したところ、多数の回答並びに御意見をいただきました。皆様の本校教育に対する関心の高さと御協力に深く感謝申し上げます。

つきましては、アンケートの集約結果をお知らせしますので、御確認ください。

<よいあらわれ>（「思う」と「少し思う」の合計%、下段は前期の結果、小数点以下は四捨五入）

	児童	保護者	教師
学校で学ぶことが楽しい。	94% (92%)	92% (94%)	100% (100%)
目標をもって、最後まであきらめずに努力している。	95% (93%)	89% (87%)	100% (100%)
自分のためだけでなく、進んで友達を助けたり、励ましたりしている。	95% (92%)	94% (90%)	100% (100%)
ICT 機器、パソコン、タブレットなどを授業で活用している。	97% (97%)	95% (96%)	100% (96%)
自分の命は自分で守っている。	99% (97%)	94% (92%)	93% (89%)

- 「学校で学ぶことが楽しい」「目標をもって、最後まであきらめずに努力している」では、前期に引き続き児童、教員ともに高い数値を示しています。児童の感想には、「国語や算数等、いろいろなことが得意になってきています。」「生活科の授業がとても楽しみです。」「難しい授業があってもあきらめないでやっています。」等があり、学びを楽しみ、目標をもって前向きに取り組んでいることが分かります。今年度の重点目標である「やってみよう やりぬこう」を、児童も意識して取り組んできた成果といえます。
- 「自分のためだけでなく、進んで友達を助けたり、励ましたりしている」では、児童、保護者、教員ともに非常に高い数値を示しています。広見小では、「ほかほかを未来へつなげ～みんなで心をつなぐ広見っ子チャレンジ～」を児童会スローガンに掲げ、挨拶と助け合いに力を入れた活動に取り組んでいます。その成果もあり、児童の意識も高まっていると言えます。
- 「ICT 機器、パソコン、タブレットなどを授業で活用している」では、前期とほぼ同じ数値を示しています。広見小は、R4、R5 年度に富士市教育委員会指定「学習指導（ICT 活用）」研究校として、11 月 10 日に研究発表会を行いました。富士市内の多くの先生方から「子供たちの様子を見たら、ふだんから深い学びをしていることがすぐに分かりました。学ぶ集団になっているからクラスの雰囲気もとても良かったです。」「児童一人一人が、真剣に考え、自分の意見を発表している姿や、友達の発言にしっかりと耳を傾けそれに対しても自分の考えを伝えようとする姿に驚かされました。」等の御意見をいただき、成果を実感することができました。
- 「自分の命は自分で守っている」では、児童、保護者、教員ともに、前期より数値が上がりました。広見小では、年 3 回の地震避難訓練、引き渡し訓練、不審者訓練、火災避難訓練を実施し、自分の命を守る意識を高めています。先日実施した予告なしの地震避難訓練では、児童一人一人が災害時にどのように行動したらよいのかを考え、落ち着いて避難することができました。今後も、様々な場面で、どのように行動すべきかを考えられるよう指導していきます。

〈改善したいあらわれ〉（「思う」と「少し思う」の合計%、下段は前期の結果、小数点以下は四捨五入）

	児童	保護者	教師
よい悪いの判断ができています。	90% (89%)	89% (90%)	41% (47%)
オンラインゲームや SNS の危険性が分かっている。	97% ※後期より新たに追加した項目のため、前期数値はありません。	80%	82%
自分から進んで読書をしている。	81% (82%)	51% (49%)	70% (82%)

- 「よい悪いの判断ができています。」では、教員の数値が大変低いです。教師の目の届かないところ、登下校時や放課後にトラブルが多く、「夕方5時を過ぎても、外で遊んでいる。」「急に飛び出してきて危なかった。」等、地域の方から御指摘をいただくこともありました。教室で話すとき正しい判断ができていても、大勢の友達といるとその場の雰囲気流されて正しい判断ができないといったことも多かったです。さらに、「オンラインゲームや SNS の危険性が分かっている」では、児童の数値と保護者、教員との数値に約 15%の差がありました。情報モラルについての取組を定期的に行っているため、児童は危険性を理解していると感じていますが、実際には、SNS で友達とトラブルになったケースがありました。学校でも引き続き、根気強く指導していきます。御家庭でも放課後の過ごし方やオンラインゲーム、SNS について話題にしてみてください。
- 「自分から進んで読書をしている」では、児童と教員の数値が下がりました。タブレットの活用が進み、休み時間にもタイピングの練習に取り組む姿が多く見られますが、その反面、本に親しむ時間が減っている様子が見られます。読書を通して、語彙が豊かになり、想像力や読解力を育むことができます。読書月間や CS ボランティアによる読み聞かせ等の取組を継続し、読書への意識が高まるよう指導をしていきます。

本校教育をより良いものとしていくための御意見や御提案をたくさんいただきました。多かった御意見及び学校の対応についてお知らせいたします。

〈学習公開について〉

- 「学習公開の地区ごとの分散をやめてほしい。」という御意見をいただきました。新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症対策として、分散して学習公開を行ってきました。今年度、新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に移行されましたので、来年度は分散公開をやめ、2・3 校時の 2 時間を公開し、御都合の良い時間を参観していただくよう計画しています。

〈運動会について〉

- 「運動会を一斉開催してほしい。」という御意見をいただきました。一方で、「運動会はこのまま分散開催が参加しやすい。」という御意見もいただいています。教員からも「他学年の演技を見せ、高学年への憧れや今後の意欲につなげたい。」という意見がありました。来年度は、秋に大きな行事が予定されているため、運動会は 5 月末に計画しています。ただ、5 月は日差しも強く、長時間運動場で過ごすことが難しいため、午前中のみで一斉開催を予定しています。また、児童が日差しを避けることができるよう、まちづくり協議会、各地区にも協力を仰ぎ、テントを準備するよう計画しています。保護者の皆様にも、ぜひ、テント張りのボランティアに御協力いただけますようお願いいたします。

アンケートへの御協力をありがとうございました。いただいた御意見を参考にしながら教育活動を行ってまいります。今後も、学校への御理解と御協力をお願いいたします。